

第1学年国語

	①	②	③								
評価の観点	知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度								
目標	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	ことばを通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して、自己を向上させ、ことばを適切に使うようにする。								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実力テスト ・漢字テスト ・聴くテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・実力テスト ・漢字テスト・聴くテスト ・プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチ(発表、聴く態度、書く) ・振り返りシート、読書カード ・ノート等の感想 ・各種作文(少年の主張・夏休み作文等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(挙手による発表・忘れ物の状況・課題に取り組む態度) ・宿題、提出物(期限を守り丁寧に取り組んでいるか) ・スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション ・作文、レポート ・ノート、ワーク ・振り返りシート、読書カード 								
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で行う漢字テストの予習をすること。 ・音読はすらすらと読めるまで繰り返し練習すること。 ・ワークには一問ずつ時間をかけて丁寧に取り組み、答え合わせをする際は解説にも目を通すこと。 											
指導計画											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・『朝のリレー』 ・『竜』 ・グループディスカッション ・『ペンギンの防寒着』 ・『クジラの飲み水』 ・レポート ・話し言葉と書き言葉 ・『空中ブランコ乗りのキキ』 ・言葉の単位・文節の関係 ・『字のない葉書』 ・部首と成り立ち ・随筆 ・接続する語句・指示する語句 ・スピーチ ※8月は除く 				<ul style="list-style-type: none"> ・『玄関扉』 ・『月を思う心』 ・『竹取物語』 ・『故事成語』 ・漢字の音と訓 ・情報 ・行事案内リーフレット ・単語の類別・品詞 				<ul style="list-style-type: none"> ・『それだけでいい』 ・表現技法 ・詩 ・『トロッコ』 ・『意味と意図』 ・方言と共通語 ・意見文 ・『少年の日の思い出』 ・グループ新聞 			